

広報



ごじようめ

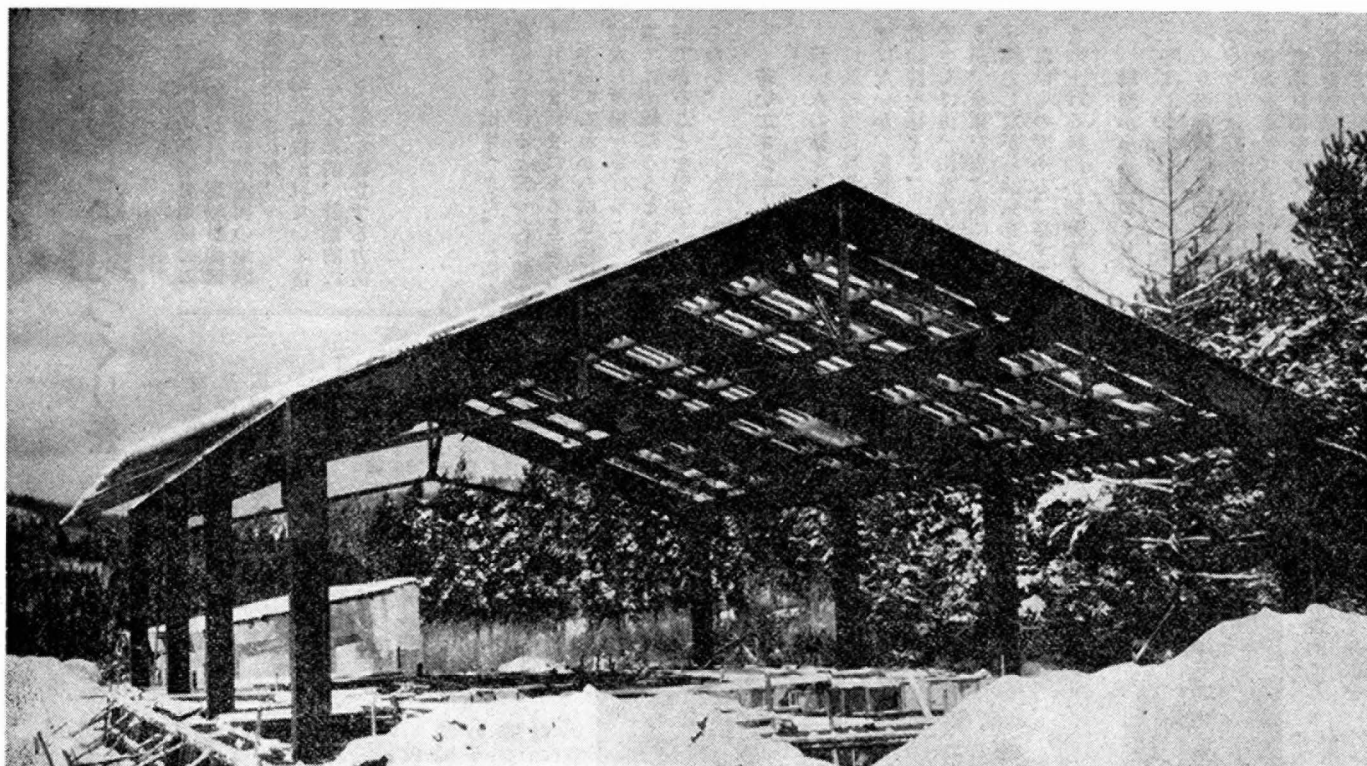
発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876)2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

人口と世帯

世帯数 3,955 世帯
人口 17,244 人
内訳 { 男 8,323 人
女 8,921 人

住民登録調 (51年11月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。



鉄骨の雄姿をあらわした生活改善センター

恋地国設スキー場の隣接地にセンター建設中

ただいま恋地国設スキー場のすぐ側に昨年10月着工3月竣工予定の生活改善センターを建設中である。この改善センターは昭和42年度に山村振興の指定をうけて48年度から実施している第2期対策事業の一環として取りあげられたものである。総工事費は2095万円で、設備費は142万円となっているが施設の内容をみると、生活改善室43.20㎡、集会室107.46㎡、小会議室、管理室19.44㎡、ホール29.70㎡など合わせて228.60㎡となっている。

生産基盤の整備と生活改善の事業として

第1期対策事業は、43年度から4年間で、ほ場整備34ha、農地造成3ha、揚水機設備5カ所を推しすすめ、さらに昭和47年度に第2期対策事業として、交通事情の改善、生産基盤の改善などの振興計画を策定し、48年度から事業に着手している。

このうち特別対策事業としてはほ場整備5.5ha、それに本町の拠点的な総合施設であり、近來にない大きな事業として取り

地域づくりの拠点として

恋地に生活改善センター

～山村振興第2期対策事業で～

あげられた町民センターの建設などがそれである。

地域づくりの拠点に

保呂瀬以東の町内部落会、青年会、婦人会その他各種グループの活動が活発であるにもかかわらず、今までは地域内に学校以外の集会所がないため、非常に不便な活動を余儀なくされ、社会生活上も著るしい支障をかこってきたところである。

この地区の人々にとっては、決して早い着工ではなかったと思うが、恋地、杉沢部落を縦断する県道は拡巾舗装され、坊井地部落の道路も農村総合整備モデル事業で改修されるなど交通網の整備充実が、この改善センターを利用する人々にとっては非常に大きな利便をとまうし、今後は冬期間におけるスキー場のロジック的性格にも大きな役割を果すものとみられている。ともあれ、この生活改善センターが地区の人々にとって、心の拠点施設として大いに活用され、地域づくりの振興に役立ててくれることを期待したいところである。

(広報紙中にある写真を欲しい方にはお)

△広報サロン▽

最初で最後の検舞台

共立女子大学四年 館岡 梨花



昨年の暮れ、目黒にある喜多六平太記念音楽堂で、夢にまで見ていた能を演

ずることができた。母校の先輩達が十几年来の悲願であった檜舞台で、しかも最終学年にシテ(主人公)役で踏むことが出来たことは全く幸運であった。母方の祖父が高橋梅亭の弟子で謡曲をやり、父はまた観世流に親しんでいた環境から、小学校の声を聞くときと否応なく日本舞踊を習わされ六年生まで続いた。

父の死後仕舞に転じたが、この日本舞踊のハコビ(すり足歩行)が、能のすべての動作の中で、非常に重要なものとなって生きてくるので、父の意図がそこにあったのかと思ひ当る節もあり感謝している。

能の物語には、戦いもあれば、恋もあり、さまざまな事件をシテの懐旧談の形で委曲を尽して述べるが、私の演じたのは、金春禅竹作の「玉かざら」であった。旅僧が初瀬に詣でると、玉かざらの霊があらわれて、九州から逃がれ出て来た昔語りをして、恋の妄執を述べるくだりである。初めての檜舞台を思うと、その前夜は頭や眼が冴えて眠れず、恐ろしさを感じた。

しかし大学を選ぶ前提に能があり、佐渡や熊本に合宿し厳しい練習の中にも充実した青春を感じさせてくれたのも能であった。そして何よりもこの四年間小言ひとつ言わず、女の細腕で支え続けてくれた母親を思うと、舞台が怖いなどと言えた義理ではなかった。十二月十一日が本番であった。香港五城目、東京とオットリ刃でかけつけた母と多数の観客の前に、一瞬のすきも許されない演技を終えた時はさすがに総身無力感に襲われた。最初で最後になるだろうこの晴れ姿を、今は亡き父に一目見せてやりたかった。

馬場目地区移動町民室

馬場目地区にふさわしい町づくりを

去る一月九日(日)午後一時三十分から馬場目地区でこの初の移動町民室が会場を小学校に開かれ、馬場目地区の将来展望や広域基幹林道の見通し、中核林業振興の地域指定などについて活発な意見や要望が出された。

十二回目を迎えた移動町民室も各地区が置かれている状況を反映し、内容的にも様々であるため体系的、計画的にしかも補助事業にのせながら町づくり構想を確立する方向づけが加賀谷町長から打ち出された。

伊藤分館長のあいさつ

あけましておめでとうございます
このたび私達の計画に快く応じてくれた町当局とみなさんに感謝申し上げます。

今日は馬場目地区の町民室であり対話を通して町政の現状を認識し、そして住民の生の声を吸い上げてもらいたい。活発な要望を出していただきたい。

町長あいさつ

例年になく厳しい雪の多い正月であったが、皆さんと明るい気分であることを心から喜んでいいます。今年は寒さが厳しく馬場目川の川面に氷が張っている。これは恐らく北半球に氷河期が周期的に来ているのではないかと言われており、これからはそういう自然環境の変化にどう対応するかということである。

仕事を創る意欲が必要

つぎに正月の中里帰りの若者達と話し合った中で、大部分の方が帰郷したいが職がないという意見であった。職というものは仕事に付いたものであり自分たちが仕事

仕事になされていた
財政の効果的な利用

限られた財政下で
効果的な仕事を
ため体系的に計画的

センター、体育館は町の集約点

今朝五連青の室内球技大会に出てみて、町民の持つエネルギーを建物によって再認識した。長い間町民に不自由をかけたが町民センター、広域体育館をつくれればそれに付随する駐車場、広場など関連してくる。

生活改善センター

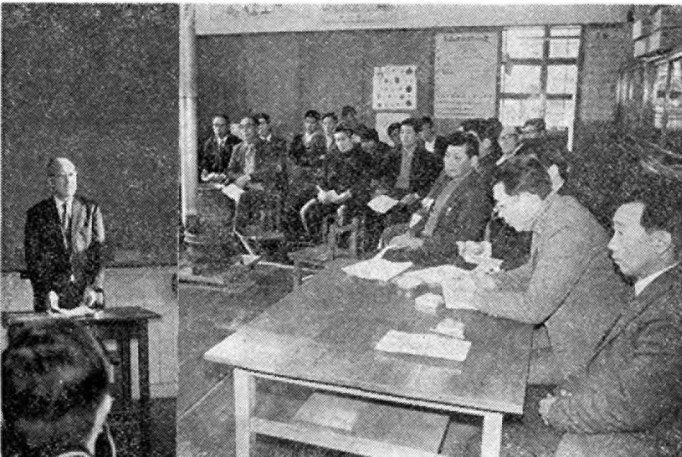
地元住民のこいの場

農山村の振興については農村総合整備モデル事業や中核林業振興地域指定の二本立てで整備を進める。いま窓地に生活改善センターを建てているが、地区住民のこいの場として利用していただき、スキー場と一体化した機能を持たせ補助事業を進めている。

文化水準を高め

秋田一五城目間の交通渋滞は一時間三〇分にすぎない、一時間のうち確実に到達できるルートを確認しなければならぬ。同時に町の文化水準を高めるため交通網の整備をし、秋田市への人口集中の抑制と町の過疎化を防ぐ意味で体育館、センター、スキー場をつくり付随した施設や室内プールをつくりたい。生活環境を整えながら町民の負担を軽くし文化水準を高めながら町の本当の産業振興に予算を重点的に使える時期をつくり出すため皆で協力したい。

町政の展望について語る加賀谷町長



町の仕事は体系的、計画的にし
かも補助事業にのせて行く鉄則を
守り、進めていきたい。

に県道に昇格させたい。また奥地を陽の当る環境にするため合地地区総合整備を行う。通学道路、子どもの寄宿舎、消防施設などを来

年度から五カ年計画で実施する。民主主義の根本は皆さんの手の中にあり、皆さんの意向を素直に受け止めそれをどう生かすかにあり、貴重な経験やアイデアを出してほしい。

(要望事項)

・馬場目小学校グラウンドの整備についてグラウンドの水はけが悪くバックネットを取付けてほしい

町：約二二〇万円で一〇〇M走路一周二〇〇米をつくられたが排水施設までしていないが土砂を入れて改良する。バックネットは五十二年度に補修したい。

・学校の暖房設備を石油にかえてほしい。

町：できれば五十二年度から徐々に切替えたい。

・米飯給食について。

町：来年度大川小学校でやりたいできれば全校いっせいにしたいが二千万の経費を要する。方法については週二回は米飯、三回はパン給食で行きたい。

・恋地の生活改善センターの完成後地元住民のこいの場としてもらいたい。

町：これは地域住民のため農村生活改善の研修の場となっていて、ので大いに活用願いたい。それとスキー場の客を宿泊させたい内容は鉄骨木造、高床式で床面積七〇坪、集会所三十三坪生活改善室、小会議室など計画している。

・恋地、坊井地区の子どもたちが通学路に利用している杉沢の西通学路は道路が狭く冬期は危険である。道路を拡幅、改良してほしい。

町：モデル事業で計画している。延長一五二五m、巾四m、街灯八本、総工費七千万円である。水沢、恋地間の県道拡幅について今後の見通しはどうなっているか。

町：積寒事業で継続中である。こしは杉沢部落の中を除いた上から千m巾七m、事業費三千万円を予定、県単であるが五十二年度に実施するよう働きかける。水沢、恋地間は技術的に難工事予想される。県でことし調査費を計上するので、結果を見て対処したい。

・広域基幹林道の今後の見通しについて。

町：五十二年度は事業費八千万円で延長一三〇〇m、五十三年度富津内、馬場目間延長二三〇〇mを計画、さらに湯ノ又、台間を結びたい。完成後は内川、富津内馬場目が一体となる見込である。

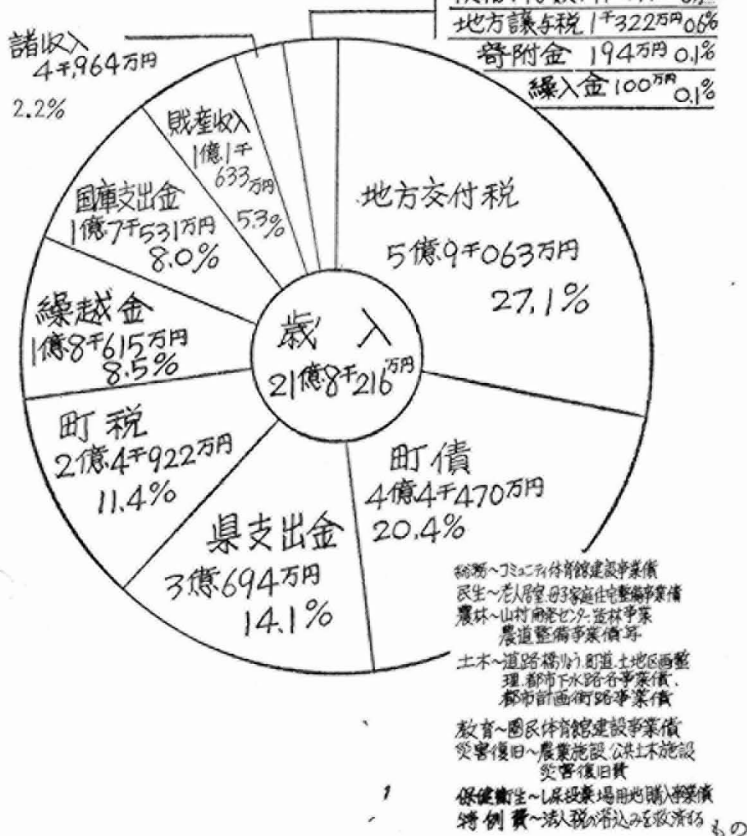
・航空防除について町の助成をおねがいしたい。

町：これについてはさきごろも杉苗に大きな被害を与えており補償問題まで生じている。むしろ種子消毒の農家負担をなくしてはどうかと思うのでよく検討したい。

まとめ

町長：あと一カ月たらずの任期だが大へん勉強させてもらった。皆さんと考えたことは五城目らしい仕事をすべきである。馬場目は馬場目の特徴を出してもらうため皆さんからいろいろ意見を聞き、要望を十分生かしながら全体的な町づくりを計画したい。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

町の収入



昭和五十年年度一般、特別会計は町議会十二月定例会で認定されたが、そのあらましを公表したい。

一般会計決算額は、歳入総額が二十一億八千二百十六万六千三百三十円、歳出の総額は、二十二億五千八百一十四万四千四百五十五円となっている。これによると七千五百八十四万七千七百五十五円の繰上げ充用が必要であった。

なお昭和五十年年度単年度においては、三千五十七万六千二百一十一円の赤字となっており、その主な理由は、経済変動により一億四百四十九万四千四百五十五円の繰上り金に不足したものである。

歳出総額 二十二億五千八百一十四万円

一般会計

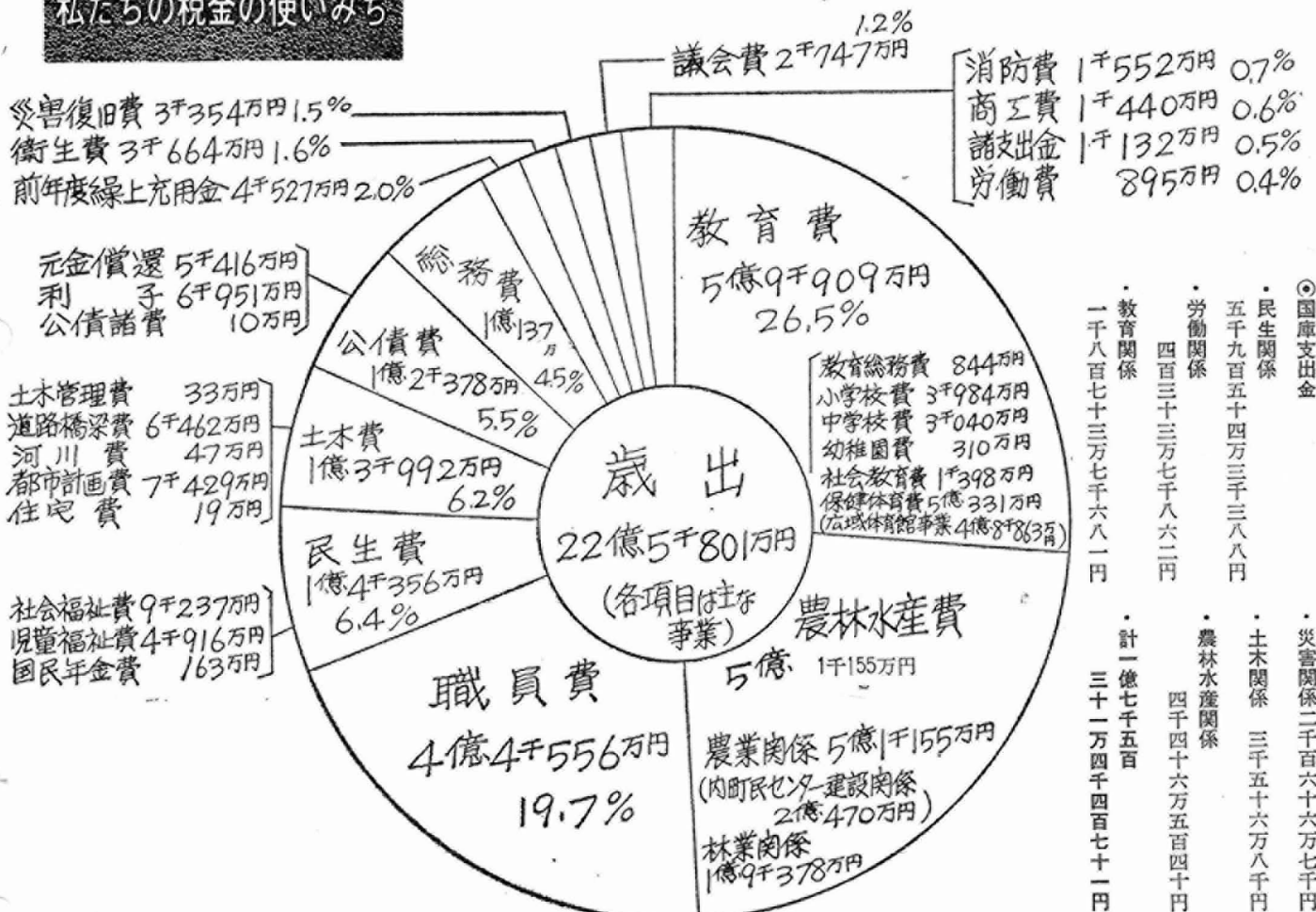
◎町税
 二億四千九百万円

◎町税
 歳入総額の十一・四%を占める町税は予算現額二億四千三百八十七万七千円、調定額二億五千二百七十七万四千二百六十一円に増減した。

◎国、県支出金
 四億八千二百万円

国や県からの補助金であるが、その内訳を見ると次のようになっている。

私たちの税金の使いみち



●県支出金

・総務関係

二千二百四十五万四千八十六円

・民生関係

六千九百九十七万九千三十五円

・衛生関係

八百七十一万八千九百六円

・労働関係

二十九万七千九百十円

・産業関係

一億六千五百八十二万四千二百円

・教育関係

二千五百八十八万六千七百二十五円

・土木関係

一千三百七十三万五千四百五十円

・商工関係

八万円

・消防関係

五万三三百円

・計三億六千九百四万三千八百二十四円

国、県の補助金の額を合すると

四億八千二百二十五万八千二百九十五円

となっており、総決算額の二二・一%を占めている。

五十年決算に対して、新谷国太郎、加藤基一両監査委員から、次のような意見が出されている。

「一般会計および特別会計を通じて、決算はその計算に誤りなく証書類も整備され、会計経理はほぼ完全である。

経済変動のため財産売却の年度内中止により、四十九年度に引続き繰上充用となったことは残念であるが、継続事業等予算計上の事業がほぼ完了したことは喜ばしい。

健全財政確立のため、歳入の確保に一段の努力され、会計経理を完璧ならしめるため、職員の研修に努められんことを望む。

以上のことは、なかなか困難なことであるが、更に一層の工夫と努力によって、本町における行政の運営が完璧となること出来ることを確信する。」

決算特別委員会委員長報告

決算特別委員会に付託された

議案第七十二号

昭和五十年五城目町一般会計歳入歳出決算認定について

・議案第七十三号

昭和五十年五城目町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

・議案第七十四号

昭和五十年五城目町簡易水道事業特別会計決算認定についての各議案につき、加藤委員長からその審査の経緯と結果について報告があった。

以下その概要を述べる。決算の審査にあたっては、既に監査委員から提出されている審査意見書等を参考に

・予算執行の経緯

行政及び経済効果・社会的な諸点などに對し、関係証拠書類の関らん、照合審査し、なお部外関係者一名の出席を求めるなど審査の慎重を期した次第である

はじめに、議案第七十二号について次の六つの指摘事項があった。

立木売却収入五二%減が赤字の最大要因

一、赤字財政の問題点を審査

昭和五十年五城目町一般会計赤字額

三千五百七十六千二百一円

・累積赤字額

七千五百八十四千七百一五円

昭和五十年五城目町一般会計赤字額は、町財政が赤字基調である事を重視、その要因を慎重審査した。

財源の計上は正しい

認識と見通しを

・町民センター、広域体育館事業費増嵩

五十年五城目町においては、広域体育館、町民センターの建設事業費の増嵩があった。

この財源となる立木売却収入が当初予算計上額の一億四千万円が五千四百万円、五二%減の収入となった。これが、赤字発生原因の最大の要因となった。

減収の起因はどこに

・当局の説明

経済変動による立木価格の低下に起因する伐採見合せによる。

・委員会の意見

流動的な社会経済の影響が大きかった事は理解できるが、結果として、価格の過大評価と最低価格で売却しなければならなかった事態になったこと。

・もう一点は

県行造林の立木処分は県に主体性があり、伐採量及び伐採時期に非常な不確定な要素が多いこと。

以上の内容に対する当局の認識と見通しの甘さが、赤字の最大原因となっていることを指摘する。

疑義の発生しない姿勢がほしい

二、売買契約について

立木売却契約にともなう代理行使について、当局と法解釈上の相違点があった。当局に対しては、法の中に流れる精神と法以前のものととして受けとめ、疑義の発生しないような姿勢の保持に努力するよう指摘を要した。

法第三八条第三項に

照らし好ましくない

秋田県最低賃金

秋田県内で働くすべての労働者に適用する秋田県最低賃金が次のとおり改正されました。

昭和51年12月24日以降、秋田県最低賃金額1日1,904円以上の賃金を支払わなければ、労働者を使用することが出来ません。もし違反した場合、最低賃金法により罰せられます。

最低賃金の名	最低賃金額	除外賃金	効力発生日
秋田県最低賃金	1日 1,904円 1時間 (短) 238円	精皆勤手当 通勤手当 家族手当	51.12.24

- 1、最低賃金額欄の(短)は、一般の労働者より労働時間の短い者、(時)は、時間給労働者をいいます。
- 2、産業別最低賃金と秋田県最低賃金が競合する場合は、金額の高い方の最低賃金が適用されることとなります。
- 3、精神又は身体の障害により著しく労働能力の低い者、試用期間中の者等で最低賃金の適用が困難な場合は、「適用除外許可申請」を所轄労働基準監督署長を経由して、秋田労働基準局長にしてください。
- 4、最低賃金の概要を、常時作業場の見易い場所に掲示する等の方法で労働者に周知させてください。

最低賃金について、不明の点があれば最寄りの労働基準監督署または秋田労働基準局賃金課(TEL(0188)62-6681)におたずねください。

五城目町長選挙

二月二十日 投票日

一、告示 二月十三日(日)

一、立候補届出締切

二月十四日 午後 五時まで

一、投票日 二月二十日(日)

五城目町選挙管理委員会

住民税申告相談日程表

月日	地区名	町内部落名	申告会場名
2・7日	五城目	広ヶ野、希望ヶ丘、田町、今町御蔵町、小池町、川原町	役場第三会議室
8火	"	新町、一番町、古川町、新畑町紀久栄町	"
9水	"	長町、仲町、米沢町、築地町矢揚崎	"
10木	"	畑町、昭辰町、雀館、中川原、館町	"
14月	"	樋口、上樋口(上・下)、岩城町	上樋口公民館
15火	"	上高崎、高崎、下高崎	馬川公民館
16水	"	久保、館越	"
17木	面 湯	岡本1区、野田	森山公民館
18金	"	岡本2区、浦横町	"
21月	内 川	浅見内(1区～6区)	浅見内児童館
22火	"	湯ノ又(1区～4区)、小川口	農協内川支所
23水	富津内	北々口、高千、落合、脇乙	落合公民館
24木	富津内	富田、小倉、黒土	農協富津内支所
25金	富津内	下山内、八田	"
28月	"	上山内、台御蔵下	"
3・1火	馬場目	合地、杉沢、恋地、坊井地	杉沢公民館
2水	"	水沢、平ノ下、中村	農協馬場目支所
3木	"	寺庭、小野台、蓬内台	"
4金	"	帝釈寺、町村、門前	町村公民館
7月	大 川	大川1区、大川2区、大川4区	大川出張所
8火	"	大川3区、下樋口	"
9水	"	石崎、西野	西野公民館
10木	"	谷地中	谷地中公民館

住民税の申告相談について

町では昭和五十二年度分住民税の申告相談を次の日程により実施する。

●申告しなければならない人

昭和五十二年一月一日現在五城目町に住所を持っている人で、次の事項に該当する人

- ①前年中に所得のあった人
- ②給与支払報告書が勤務先から提出された人でも、給与外の所得のあった人
- ③給与支払報告書を提出した人で昭和五十一年中に災害を受けたことによる雑損控除や、自分とか家族が病気になることによる

申告会場には、かならず次のものを持参のこと。

●申告に持参する資料

申告会場には、かならず次のものを持参のこと。

- ①所得税の確定申告をした人
- ②所得が給与所得のみで、勤務先から給与支払報告書が町に提出された人
- ③生活保護法による扶助を受けている人
- ④国民健康保険に加入している人
- ⑤国民健康保険に加入している人は、所得の多少にかかわらずかならず申告されたい。

- ①営業所得者の場合は、収入・支出に關連する帳簿や伝票類
- ②生命保険料領収書、国民年金保険料領収書、医療費領収書、その他所得控除に必要な証明書類
- ③農業所得者の場合は、土地改良費、水利費、雇人費、大農具費委託費の控除資料となるもの
- ④国民健康保険証、その他証明書類
- ⑤印かん

●申告しない場合

- ①国民健康保険の加入者で、所得の少ない人、前年より所得が特に減少した人などの場合、国民健康保険税の低所得者に対する減税措置が受けられないことになる。
- ②各種資金の借入に關連して所得

証明などが必要な場合がある。申告のない場合はそれを受理できないことがある。

- ③前年中に当然所得があると推定される人は、申告がない場合推計課税される。この場合はその人ごとの特別な状況が課税に生かされないことになる。

※受付時間 前九時半～後三時

※住民税申告書は当日会場で交付する。自主申告される人は税務課に連絡して交付を受ける。

※申告期限は三月十五日まで。

「一人一学習」へのすすめ

生涯学習奨励室(ブルーの窓口)を設置

生涯学習が町民ひとりひとりに広がるよう、その奨励普及を図るため、学習相談に際しての窓口として新たに公民館へ「生涯学習奨励室」を設置することになった。

学習活動の活性化

町内における学習活動は年々盛んになっており、学級やグループや講座に参加する人たちが、かなりふえている。しかし、まだ同じ人がいくつものグループに参加している状態である。

一人一学習を目標

そこで、「一人一学習」の実現を目標に町内全域にわたる奨励と普及を図るため、町公民館に「生涯学習奨励室」を設置した。これを「ブルーの窓口」ともいう。ここではいろいろな資料を置いて職員や奨励員が町民に皆さん

五城目町の石仏 ⑥

小川 元生

石材はぞくに青石と称されている緑泥片岩、しかも高さ二メートル五〇、巾一メートルの大きさの中に、一メートル六〇の延命地藏が深々と彫られている。

基壇を入ると一メートル七〇以上にのぼる広げた両腕の構図からして、そばへ寄るとある威圧感さえ覚える。

しかし表情は好色的で、何んとも人間くさい昭和十二年の作品で、まだたがねのあとと新しい感じだが、これから更に長い長い幾星霜かを経たとき、自然の作用と共に彫減の柔かみが出てきて、仏の表



情をおびてくるかも知れない。これまでも、新しい石仏と古い石仏とを見比べたとき、おのづとそのような違いが見えるのは不思議である、自然の霊位のなせるしわざかも知れない。この裏面に約四〇センチの大きさで観音菩薩の座像が陰刻されている。像は天衣と共にやわらかく描かれているが、ごく浅く彫られているのが惜しまれる。

(内川地区)

- ・成人教育 PTA
- ・石井 武(田町) 電話二〇四一
- ・文学 郷土史
- ・小野 一二(田町) 電話三五三三
- ・音楽 正文(高崎) 電話三六八三
- ・小玉 正(高崎) 電話三六八三
- ・婦人教育
- ・斎藤 妙子(館越) 電話三八九七
- ・コミュニティグループ育成
- ・田 啓蔵(富田) 電話二五三八

- ・グループ育成
- ・伊藤鉄郎(新畑町) 電話三六六七
- ・伊藤容一郎(石崎) 電話二三五七
- ・伊藤 久夫(黒土) 電話七七八七
- ・グループ育成
- ・石川美喜夫(杉沢) 電話六六二七
- ・婦人教育
- ・草皆宏子(帝釈寺) 電話二〇四七
- ・グループ育成
- ・加藤 信哉(野田) 電話八三三二
- ・小玉不二雄(千日) 電話七二〇四
- ・小野 久(浦横町) 電話二四二六
- ・生活技術
- ・工藤洋子(浅見内) 電話七六八八
- ・グループ育成
- ・伊藤 信子(町村) 電話六二四四

昭和51年度 歳末たすけあい運動報告書

募 金 状 況

募 金 方 法	募 金 額	備 考
戸 別 募 金	837,155円	目標3703世帯 740,600円 実件数 3687世帯
篤志寄附金	33,269	ボーイスカウト 30,269円 その他 2名 3,000円
前年度繰越金	23,385	
合 計	893,809	

贈 呈 状 況

贈 呈 対 象	世帯数	家族数	贈呈金額	備 考
生活保護世帯	51	110	179,000	1世帯2,000円 1世帯700円
ボーダーライン	58	200	316,000	1世帯2,000円 1世帯1,000円
一人暮らし老人	18		36,000	1人当2,000
ねたきり老人		35	70,000	# 2,000
長期療養者		13	26,000	# 2,000
老人ホーム入所者		16	32,000	# 2,000
精神病患者		49	73,500	# 1,500
施設入所者		27	54,000	# 2,000
母子父子世帯	母子16 父子2	47 5	52,000	# 1,000
医療保護世帯	2	5	9,000	1世帯2,000 1人当1,000
繰 越			39,119	現金書留6,790 のし袋 200円 封 筒 200円
合 計	147	507	893,809	

のスキー場は近くて大へん便利であり、コースも申し分ない。できればスキーロッジ、バンガロー、リフトを設置すれば相当のスキー場となる。日帰りコースにはよい場所である」と述べ、これから東京周辺などからスキー客が予想される中で受入れ体制も整備されて行くだろう。

PTA研究集会のお知らせ
昭和五十二年全町PTA研究集会が来る一月二十三日(日)に町民センターで開かれる。
今回のテーマは「子どもの幸福と健全育成を図るため、地域においてPTA活動をどう進めたらよい」か。講師は佐藤嘉子さん(秋田

PTA研究集会のお知らせ

来る一月二十三日午前九時から午後五時まで、広域体育館第一体育室において、全県選抜インドアテニス選手権大会兼東北大会県予選がおこなわれる。
当日は二十八チーム百五名の参加選手を得ておこなわれるもので本町からは昨年県民スポーツ田会で優勝したチームが参加し、その善戦が期待されている。

二七人によって初滑りが行われた
来年度、リフト、宿泊施設
横浜からやってきた青年は「こ

全県選抜インドアテニス選手権大会
～広域体育館で～
一月二十三日

一月二十三日

一、募集期限 一月二十五日
二、提出先 五城目町公民館

◎日時 一月二十五日(火)
十回予定して毎週 火、金曜日
◎時間 午後五時三〇分～七時三〇分まで
◎会場 広域体育館
詳しくは公民館(電話四四二一)へ

青年トレーニング教室

◎持 物 バック、運動できる
服装、昼食 詳しくは公民館
(電話四四二一)まで

◎会 費 三〇〇円

◎内 容 親子体操、料理実習、子どもレ

クレイション

◎場 所 広域体育館

◎日 時 一月二十四日から二十八日

午前九時半～午後三時半

昭和五十二年度親子体力づくり

市社会教育課社会教育係長)を迎

え三つの分設会を計画している。

参加希望は一月二十日まで各保

育所、保育園、幼稚園、小中学校へ

申込みこと。

関係者の声も一樣にりつばなス
キー場とする決意である。

昭和五十一年度

民有林枝打、間伐事業費の補助
金交付申請について

▽対象林令

十一年生から二十年生まで
▽対象面積 一反歩以上

▽事業完了年月日
五十二年十一月一日から

▽申請書の提出期限 二月十日
▽申請書は産業課(電話二一〇〇)

千田まで

一月二十三日

全県選抜インドアテニス選手権大会

来る一月二十三日午前九時から

午後五時まで、広域体育館第一

体育室において、全県選抜インドア

テニス選手権大会兼東北大会県予

選がおこなわれる。

当日は二十八チーム百五名の参

加選手を得ておこなわれるもので

本町からは昨年県民スポーツ田会

で優勝したチームが参加し、その

善戦が期待されている。



電話にもラッシュアワーがあります。

交通ラッシュがあいかわらずの話題となっていますが電話にもラッシュがあるのをご存じですか?これは朝7時～8時・夜8時～9時の間が最高潮とくに交換手をと

2月 ごみ収集日

町名	2月				
	1回	2回	3回	4回	5回
希望ヶ丘	5	12	20		
田町	5	12	20		
広ヶ野	5	12	20		
今蔵町	5	12	20		
御池町	5	12	20		
小川原町	5	12	20		
新町	1	7	16	22	
一番町	1	7	16	22	
古川町	1	7	16	22	
紀久栄町	1	7	16	22	
中川原町	1	7	16	22	
館城町	1	7	16	22	
岩地町	2	8	17	23	
畑町	2	8	17	23	
新畑町	2	8	17	23	
矢崎町	2	8	17	23	
仲町	3	9	18	24	
長町	3	9	18	24	
米沢町	3	9	18	24	
雀館	3	9	18	24	
昭辰町	3	9	18	24	
大川一區	4	10	19	25	
二區	4	10	19	25	
三區	4	10	19	25	
四區	4	10	19	25	
富津内川	14	26			
内川	14	26			
馬場目	14	26			
大川(本村以外)	15	27			
面瀬	15	27			
馬場川	15	27			

- 1 廃棄物は、袋、標箋のないものは収集されませんので必ずつづけるように。
2 特別重いものや大きい廃棄物は遠慮願う。
3 廃棄物一箇の大きさは、リンゴ箱程度に定めてあるので厳守のこと。
4 廃棄物収集所には収集当日午前8時までに。
5 焼却場休みの時の直搬は受付しない。

- ・五城目高校前
後一時
三時半
▽申込
保健衛生課まで
▽その他
・採血者に知事
と町長から記
念品を差し上
げる。
・手帳を持って
いる人は当日
持参のこと。

大川三区	浅野 義喜	11、19
田町	義秋 光子	11、20
新畑町	三浦 美穂	11、26
下樋口	千代志 末子	11、28
西野	工藤 稲子	11、28
中村	小玉久美子	11、28
久保	兼光 光信	12、1
一関	光宏	12、6
鎌一	悦子	12、6

誕生おめでとう

ございます

大川三区	和彦	12、20
紀久栄町	山田 和	12、20
一雄	さだ子	12、27
仲町	米田百合子	12、19
帝釈寺	宮川 繁隆	12、19
築地町	山田 勝	12、15
川原町	工藤 和子	12、13
新畑町	久保市祐喜	12、13
古川町	喜芳 洋子	12、12
雀館	金作 祐子	12、12
坊井地	勝久 和子	12、11
西野	小原 保志	12、7
広ヶ野	小原 重希	12、7
石崎	伊藤 和臣	12、6

おくりやみ申し上げます

大川三区	石川トキエ	12、19
田町	伊藤 徳治	12、19
新畑町	石井丹之丞	12、19
下樋口	加藤金五郎	12、19
西野	松橋源五郎	12、19
中村	安井由太郎	12、19
久保	小野トキノ	12、19
一関	石山 タマ	12、19
鎌一	猿田日出男	12、19
清水	清一	12、19

出稼留守家族との話し合いや健康相談

このたびは町では農業委員会農協および社会福祉協議会とともに、留守家庭の悩みや出稼先の状況などもお聞かせ願ひ町の出稼対策に反映させるため、次により座談会を開催するので、多数お誘いのうへ出席していただきたい。

◆母子保健推進員の研修会

健康な子どもを生み育てることは日常生活の中で大切なもの。そこで母子保健推進員に対する研修活動を強化し、資質の向上を図るために、次のとおり研修を行うことになった。

▽日時
五十二年一月二十七日(木)
後一時～三時
▽場所
五城目町農協会議室
▽対象
母子保健推進員

出かせぎは健康な体で



おしらせ

◆日程及び場所

- ・一月二十四日
大川、大川公民館
- ・二十五日
五城目、面瀬
- ・二十六日 馬場目
役場第三会議室
- ・二十七日 内川
湯ノ又公民館
- ・二十八日 富津内
コミュニティセンター

▽その他 出席の有無については一月二〇日まで保健衛生課(電話二一〇〇)小玉までおしらせ願ひたい。

第一回 健康大学講座開講

- ▽期日 一月二十一日(金)
午後一時 開式
▽場所 町民センター 四階
▽開講 成人予防講座 畑沢実先生
テーマ 「我が町における脳卒中の現状について」
▽その他 一月から三月まで六回開講するが四回以上の出席者には終了証書が交付される。
詳しくは保健衛生課(電話二一〇〇)伊藤まで

第四回 献血車の巡回

- ▽期日 一月十七日
▽場所・時間 前九時半～十時半
・役場前
・農協前
・五城目高校前
・後一時
・三時半

老人ホームに寄せられた善意

- ・昭和五十一年十一月十五日 洋服 二十点
- 十六日 古川町 佐藤 栄治
- 野菜 五十斤 タマゴ 五十個
- 十八日 ソックス 五十足
- 十九日 菓子、果物
- 園児遊戯慰問
- 二四日 赤飯 二十六人分
- みかん 十五キロ
- 森山 婦人会
- 二五日 柿 十五キロ
- 帝釈寺 宮川庄太郎
- 十二月 十三日 果物、おしぼり
- 十八日 果物 五城目婦人会
- 二二日 衣類、野菜、もち米
- 民謡舞謡慰問
- 大湯村社会福祉協議会
- 同民謡同好会